

# 令和4年度さいたまマッチングファンド助成金一般助成事業 評価表

資料 4-2-4

団体名(所管課名) さいたま有機都市計画(農業政策課)

事業名 さいたまOrganic City Fes.

事業の目的 市民が地域で自分らしく生き生きと過ごし、健康に暮らせるまちづくり

事業の目標 (1)有機農業をキーワードとしたマルシェを開催し、市民の中で有機農業の理解を深めること。  
(2)おいしく新鮮な農産物等を生産者から直接購入することを通じて、気軽に農業に触れる機会をつくること。

該当する所に○をつけてください

項目	評価の視点	評価		評価理由など
		充分できた	概ねできた 充分ではなかった	
1 事業の目的と目標の設定	協働事業の目的・目標は、両者が共有・設定することができましたか。	○		団体が掲げた目的目標に対し、農業政策課に賛同し細かい修正をしながらお互いイベントの意義をしっかりと把握しながら設定することができた。
2 事業の成果	事業を実施したことで、地域や社会の問題を解決する成果はありましたか。 (成果:協定書に設定した目標の達成、参加人数等の事業の結果を表す数値)	○		有機農業に関心がある市民の多さを対外的にも示すことができ、実際に市における農業の一つの方向性を考えるきっかけになった。
3 協働事業の効果	協働により事業を実施したことで、事業に良い効果はありましたか。 (良い効果:互いの組織への良い影響、気づきやノウハウの獲得)	○		来場者がとても多く、市民と農家との交流、市民同士の交流の場になった。また実行委員やボランティアスタッフとして市民が参加し、団体や行政だけでなく、たくさんの市民によりイベントを作り上げた。 協働により団体の独りよがりなイベントにならず、細やかなフォローをいただけた。会場周辺へのご配慮や、広報活動も団体だけでは難しい部分を積極的にご協力していただいた。
4 市民活動団体と担当所管課との連携	協働事業には、互いに情報交換し、連携して取り組むことができましたか。	○		団体のメンバーは市内で新規就農をしている者が多く日頃から農業政策課にはお世話になっており、情報交換などもとてもスムーズに行えた。
5 事業の適切な取組	事業実施にあたり、参加者や関係者等へ適切な声かけなどのフォローに努め、今後も繋がりが持てるきっかけを作ることができましたか。	○		このイベントを今後も長くつづけていくために、フォローについては適切におこなうことができた。
<p>★事業を振り返り、気づいたこと・感じたことを自由に書きください。 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協働して感じたこと</li> <li>・マッチングファンドの良い点、改善点など</li> </ul> <p>マッチングファンドを行うことにより農業政策課だけでなく市民活動推進課の方々にも大変お世話になった。初めての事業だったがフォローしていただきながらしっかりと計画を立てて実施してきたという体験は今後事業を自立していくにあたり大変勉強になった。</p>				

# 令和4年度さいたまマッチングファンド助成金一般助成事業 評価表

団体名(所管課名) 農業政策課

事業の目的 市民が地域で自分らしく生き生きと過ごし、健康に暮らせるまちづくり

事業名 さいたま Organic City Fes事業

- 事業の目標
- (1)有機農業をキーワードとしたマルシェを開催し、市民の中で有機農業の理解を深めること。
  - (2)おいしく新鮮な農産物等を生産者から直接購入することを通じて、気軽に農業に触れる機会をつくること。

該当する所に○をつけてください

項目	評価の視点	評価		評価理由など
		充分できた	概ねできた 充分ではなかった	
1 事業の目的と目標の設定	協働事業の目的・目標は、両者が共有・設定することができましたか。	○		当市はゼロカーボンシティの実現を掲げており、有機農業の推進をしていく中で、両者の利害を一致させながら、目標の設定ができたため。
2 事業の成果	事業を実施したことで、地域や社会の問題を解決する成果はありましたか。 (成果:協定書に設定した目標の達成、参加人数等の事業の結果を表す数値)	○		当日のイベントでは、多くの方に来場いただき、有機農業の理解の促進等を図ることができたため。
3 協働事業の効果	市民が市民活動に触れる、参加の機会をつくるなど、地域の市民活動の活性化につながりましたか。	○		当日のイベントの際に、参加者が参加できる取組(盆踊り、アーティストによる生演奏)を多く取り入れたイベントとすることができた。
4 市民活動団体と担当所管課との連携	協働により事業を実施したことで、事業に良い効果はありましたか。 (良い効果:互いの組織への良い影響、気づきやノウハウの獲得)	○		多くの方に来場いただいたことから、有機農業のさらなる可能性を実感でき、市民の方に有機農業のニーズがあることを把握することができた。
5 事業の適切な取組	協働事業には、互いに情報交換し、連携して取り組むことができましたか。	○		これまで接点のなかった有機農業者とも交流をすることができ、本事業を通してより一層の関係性を深めることができた。
★事業を振り返り、気づいたこと・感じたことを自由に書きください。 (例) ・協働して感じたこと ・マッチングファンドの良い点、改善点など	事業実施にあたり、参加者や関係者等へ適切な声かけや声かけなどのフォローに努め、今後も繋がりが持てるきっかけを作ることができましたか。	○		当日のイベントをきっかけに、就農相談や有機農業に関する問い合わせを多くいただくようになった。
当初、当日のイベントにどれだけの人が来場していただくか不安であったが、多くの方に来場いただくにも有機農業の取組を応援して下さる方がたくさんいることにより行政として気づくことができました。 今後は、自走できる取組にしていくように行政側のサポートを検討していかなければならないのが課題。 また、マッチングファンド事業においても、協働終了後の取組をさらに後押ししていただけるものがあるとありがたい。				

様式第7号 (第11条関係)

令和4年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金実績報告書

令和5年1月23日

(あて先)

さいたま市長

所在地

団体名 さいたま有機都市計画

代表者氏名 田島 友里子

令和5年1月23日付け市市市協第4-40号で交付決定の通知を受けた令和4年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成事業（一般助成事業・団体希望助成事業）が完了したので、さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付要綱第11条の規定により、関係書類を添え、下記のとおり報告します。

記

- |                           |             |
|---------------------------|-------------|
| 1 交付決定額                   | 金 357,700 円 |
| 2 精算額                     | 金 357,700 円 |
| 3 事業実施報告書                 |             |
| 4 事業収支計算書                 |             |
| 5 添付書類                    |             |
| (1) 支出を証する書類              |             |
| (2) 事業の成果物、写真、その他事業に関する資料 |             |

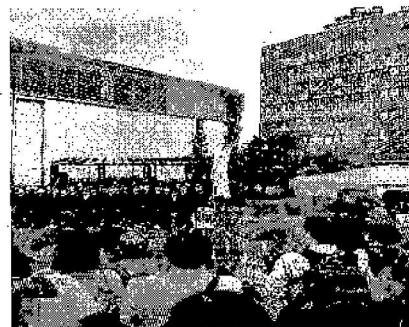


令和 4 年度マッチングファンド事業実施報告書

団体名	さいたま有機都市計画
-----	------------

事業名称	さいたま Organic City Fes.	
実施期間	令和4年5月～令和5年1月	
総事業費	427,041 円 (内訳は別添事業収支計算書参照)	
内 助成金交付申請額	357,700 円	
事業の目的	<p>*計画書の「1 現状における課題と事業の目的」(この事業は何を目的に設定しましたか?) の記載事項を転記してください</p> <p>さいたま市民が、有機農業に関心をもち、地域循環や持続可能性の追求といった都市における農業の在り方を理解し、行政による主導ではなく自らがさいたま市の有機農業に様々な形で関わり、有機農業を通したまちづくりに参加するようになる。</p>	
事業の実績	事業の具体的な内容	
	いつ	令和4年11月12日(土)
	どこで	浦和駅東口駅前市民広場
	だれに	さいたま市民及び有機農業に関心がある方全般に。
	なにを	有機農家やボランティア市民による農産物の直接の販売や、ワークショップ、新築就農相談窓口の設置、ステージイベントなどを総合した有機農業のイベントを、有機農業に関心を持つ人の絶対数が多く、かつ、熱心のない人でも気軽に立ち寄ることができる浦和駅前という場所で開催した。
	どうした	誰でも参加できる楽しい有機農業のイベントを通して、さいたま市における食や環境、今後の農業のあり方について市民が自然に考えるきっかけとなる場を、市民とともにつくり上げた。 「さいたま 有機農業」という街のイメージを、街にくらす人たろみんなでつくっていききっかけになった。
(詳細な内容) 別紙のとおり		
成果		
*事業の結果を表す数値を記載ください(例:参加人数等)。 ほぼすべてのブースで今まで参加してきた農産物マルシェの中で最大の売上になった(全体売上1,757,420円)。会場とイベント内容の性質上正確な参加人数はカウントできないが、売上から推察すると、来場者数においてもさいたま市近郊の農産物イベントとしても最大級のイベントになった。		
効果		
*事業を実施することで、地域や市民にどのような良い結果をもたらしたか記載ください。 さいたま市を中心に活動する有機農業の実践者及び、それらの農産物を利用している飲食店や消費者が互いに交流することができる場となった。どうい人が作りどうい人が食べているのかという農産物に対してのそれぞれの実感を深めることができた。また有機農業そのものについての見識も広めることができた。		
事業の評価	<p>*事業実施にあたって、課題となった点、工夫した点、良かった点、苦労した点等、評価を記載ください。</p> <p>来場者から開催回数をもっと増やしてほしいという声を多くいただいた。すべての出店者からも次回もまた参加したいという声ももらった。また、さいたま市で活動する三団体(農家バンド、浦和一女合唱部、浦和音頭盆踊り)にステージイベントを依頼し、主催者自身ではリーチできない多くの方にも来場をうながすことができた。イベント実施前後においてメディアからの取材も多数いただき、宮舘的にも社会性としても意義のある事業になった。</p>	
今後の展開	<p>*この事業は、次年度以降どんな事業展開を考えていますか? ※翌年度以降の継続性、協働や自立事業への見込みなどについて記入してください。</p> <p>自立事業にしていくために、出店料などを含め事業としての収益を確保していく。スポンサーの募集やクラウドファンディングなども視野に入れ展開していく。次年度以降、出店者、来場者の増加が予想されるため、開催回数の増加や会場変更なども視野に入れたい。</p>	

事業の内容		
実施時期	労力換算番号	実施内容
R4.5.31	1	当団体とボランティアスタッフによる実行委員の結成。事業趣旨の説明会。目的の共有。マッチングファンドについての共有。イベントまでの大まかな流れの作成。
R4.6.11	2	実行委員打合せ。イベントの流れの作成。ステージイベント案の打合せ。チラシやのぼり、音響、当日対応などの役割分担決定。テントについての話し合い。出店者よびかけ。
R4.7.16	3	実行委員打合せ。各担当による進捗報告、チラシなどの締め切りを決める。ステージについての話し合い。テント状況把握。出店者リスト作成。出店者説明会の会場、日程の決定。
R4.8.23	4	実行委員と農政課との打ち合わせ。チラシたたき台からの意見交換。出店者決定。スタンプラリー実施の決定、内容や景品についての話し合い。農政課へ就農相談ブースを依頼。
R4.9.10	5	実行委員打合せ。チラシ案の決定。印刷枚数や大きさ、配布場所、配布方法の決定。スタンプラリー案の決定。ステージ三団体の決定。
R4.10.8	8	実行委員打合せ。出店者説明会の準備。イベント当日の流れの作成。当日サポートスタッフの流れを確認。ポスター、チラシの配布分担。テント配置案の作成。追加の出店者への対応。
R4.10.13	6	出店者説明会。出店予定である30団体の内26団体（内zoom5団体）が参加。出店者同士の顔合わせ。イベント概要と目的の説明。会場、当日の流れの説明。
R4.11.5	7	実行委員打合せ。最終の確認。当日タイムスケジュール作成、確認。テントレイアウト決定。チラシの残りを新聞折り込みに依頼。取材対応者や内容の決定。延期の場合の条件の確認。
R4.11.12	9	イベント開催。30の出店団体による有機栽培による農産物や飲食物の販売、農的ワークショップの実施。農政課による就農相談。スタンプラリーの実施。ステージ（ピオ見沼による農家バンド、浦和一女高校合唱部によるコーラス、よいよいブギーによる浦和音頭盆踊り。



		<p>イベントへの来場者、出店者両方から「楽しかった」、「つながりができて嬉しい」、「定期的 に開催してほしい」、「市内の有機農業の盛り上がりを感じ取れた」などの声をいただいた。</p>
<b>R4.11.21</b>	10	<p>出店者による反省会。開始時間の検討。出店希望者増加の場合の対策。売上報告。出 店料値上げの了承。各自意見の聞き取り。</p>
<b>R4.12.4</b>	11	<p>実行委員反省会。次年度への課題を共有。自立事業へむけての資金集めについての打合 せ。</p>
<b>R5.1.8</b>		<p>次年度に向けた打ち合わせ。</p>
<b>R5.1 中</b>		<p>報告書作成、提出。</p>

## 事業収支計算書（計画、交付申請、変更、実績）

&lt;収入&gt;

単位：円

区分		算出根拠	金額
収入合計 (A)		(a) + (b)	427,041
自己資金額 (a)		①～⑥の合計 (d) と同額	69,341
団体の自己資金	① 自己資金	会費	27,341
	②		
	③		
費用の徴収	④ 出店料	1,500×24 1,000×6	42,000
	⑤		
	⑥		
助成金交付申請額 (b) (助成金収入・100万円以内)		(c) と同額	357,700

&lt;支出&gt;

区分		算出根拠	金額
支出合計 (総事業費) (B)		(c) + (d)	427,041
助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回らない経費	① 印刷製本費	のぼり備前幕134,000円 (デザイン4万、作成94,000) チラシ、ポスターデザイン・印刷代 100,000円	234,000
	② 謝金・報酬	パフォーマー三団体謝礼105,000円 (35,000円×3) のうち助成金充 当分 100,000円	100,000
	③ 消耗品費	文具類など 総額8,571円のうち助成金充 当分	2,810
	④ 保険料	イベント保険 総額22,810円のうち助成金充 当分	10,000
	⑤ 役務費 (通信運搬費等)	新聞折り込み	10,890
	⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩		
助成金充当経費計 (c)		①～⑤の合計 (b) と同額	357,700
助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回る経費	⑪ 謝金・報酬	パフォーマー三団体謝礼105,000円 (35,000円×3) のうち助成金充 限度額を超える分 5,000円 パフォーマー団体への音響装置使用に 関する謝金 10,000円	15,000
	⑫ 保険料	イベント保険 総額22,810円のうち助成限度額を 超える分	12,810
	⑬ 消耗品費	総額8,571円のうち自己資金充 当分	5,761
助成対象外経費	事業に附随して 必要な経費 [(c)の10%以内]	⑭	
		⑮ 備品代	入口モニュメント作成費用 49,000円のうち助成金10%にあたる 経費
	⑯		
	その他の経費	⑰	
		⑱ ⑲	
自己資金充当経費計 (d)		⑮～⑲の合計 (a) と同額	69,341

※(A)=(B)、(a)=(d)、(b)=(c)となるように記入してください。